



タイトル Title	則武保夫博士略歴・著作目録(則武保夫博士記念号)(List of Books and Articles by Dr. Yasuo Noritake (Noritake Commemorative Issue))
著者 Author(s)	
掲載誌・巻号・ページ Citation	国民経済雑誌,160(3):139-147
刊行日 Issue date	1989-09
資源タイプ Resource Type	Departmental Bulletin Paper / 紀要論文
版区分 Resource Version	publisher
権利 Rights	
DOI	
JaLDOI	10.24546/00173903
URL	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/00173903

則武保夫博士略歴・著作目録

略 歴

- 大正14年4月12日 神戸市に生まれる
- 昭和18年3月 兵庫県立第一神戸中学校卒業
- 昭和20年9月 陸軍経理学校退校
- 昭和22年3月 神戸経済大学予科卒業
- 昭和25年3月 神戸経済大学卒業
- 昭和25年4月 神戸大学助手（経済学部）
- 昭和27年8月 神戸大学講師（経済学部）
- 昭和29年12月 神戸大学助教授（経済学部）
- 昭和39年12月 神戸大学教授（経済学部）
- 昭和41年3月 経済学博士（学位論文「資金循環と金融資産の研究」）
- 昭和41年4月 ソビエト連邦，ポーランド，連合王国，ノルウェー，フィンランド，ドイツ連邦共和国，スイス，フランス，アイルランド，ポルトガル，イタリア，ユーゴスラビアの各国へ出張（昭和42年3月まで）
- 昭和44年3月 神戸大学評議員（昭和46年5月まで）
- 昭和47年4月 神戸大学経済学部夜間学部主事（昭和48年3月まで）
- 昭和48年7月 デンマーク，スウェーデン，オランダ，ベルギー，スイス，フランス，イタリア，オーストリア，ドイツ連邦共和国，連合王国，アメリカ合衆国の各国へ出張（昭和48年10月まで）
- 昭和49年6月 金融学会理事（昭和63年6月まで）
- 昭和55年11月 神戸大学評議員（昭和57年11月まで）
神戸大学大学院経済学研究科長（昭和57年11月まで）
神戸大学経済学部長（昭和57年11月まで）
- 昭和56年1月 日本学術会議第12期会員（昭和60年7月まで）
- 昭和58年12月 日本学術会議代表団団員としてマレーシアに出張（昭和58年12月まで）
- 昭和60年3月 ヴェトナム社会主義共和国へ研修旅行（昭和60年4月まで）
- 昭和60年7月 日本学術会議第13期会員（昭和63年7月まで）

昭和63年7月	日本学術会議第14期会員（平成3年7月まで）
昭和63年10月	タイ王国、ヴェトナム社会主義共和国、香港へ研修旅行（昭和63年11月まで）
平成元年3月	神戸大学を停年により退官
平成元年3月	神戸大学名誉教授
平成元年4月	立正大学教授（経済学部）

著 作 目 録

—— 著書・共編著・共訳書 ——

現代金融論——資金循環と金融資産の研究—— （神戸経済学双書2）	有斐閣	昭和40年2月
現代金融論の新傾向（藤田正寛と共編）	東洋経済新報社	昭和49年5月
ケインズ『インドの通貨と金融』（ケインズ全集 第1巻, 片山貞雄と共訳）	東洋経済新報社	昭和52年2月
ケインズ——著作と思想——（浅野栄一・早坂 忠・白井孝昌・美濃口武雄と共著）	有斐閣	昭和53年9月
国際通貨をみる眼（片山貞雄・千田純一と共著）	有斐閣	昭和58年9月
現代金融論（三木谷良一と共編）	有斐閣	昭和59年2月

—— 論 文 ——

ケインズ理論にたいする一考察	『国民経済雑誌』85巻4号	昭和27年4月
実現の理論によせて	『神戸経済大学創立50周年記念論文集』	昭和28年5月
インフレーションの基礎的諸問題	『国民経済雑誌』87巻6号	昭和28年6月
所得理論の方法論的反省	『国民経済雑誌』90巻2号	昭和29年8月
利子率と一般均衡分析（資料）	『国民経済雑誌』92巻4号	昭和30年10月
成長理論への一考察	『国民経済雑誌』92巻6号	昭和30年12月
貨幣的経済理論の成立・性格とその基礎	『経済学研究年報』2	昭和30年12月
信用・財政理論	岸本・都留監修『講座近代経済学批判』第2巻（有斐閣）	昭和31年12月
ハイエク	同上書	昭和31年12月
The Development of Monetary and Banking System in Japan, 1932-1945	Kobe Univ. Economic Review 2	昭和31年
ケインズの貨幣観	『国民経済雑誌』95巻2号	昭和32年2月

流動性選好について	『国民経済雑誌』96巻5号	昭和32年11月
銀行独占と経済発展	『経済研究』（一橋大）9巻3号	昭和33年7月
ケインズ利子論と資本の再生産	金融学会編『金融学会報告7』	昭和33年5月
経済発展と金融資産	『国民経済雑誌』100巻1号	昭和34年7月
資本蓄積と「歯止め効果」	『国民経済雑誌』100巻5号	昭和34年11月
(金融学会編『金融論選集7』（昭和35年10月）に再録）		
Liquidity Preference and Financial Assets	<i>Kobe Univ. Economic Review</i> 5	昭和34年
マネー・フローと金融資産分析	『経済評論』9巻1号	昭和35年1月
金融構造の非流動性と傾斜性	『週刊東洋経済』別冊	昭和35年3月
金融資産と資本蓄積	『バンキング』145号	昭和35年4月
貨幣の流通と金融資産	『経済学研究年報』7	昭和35年7月
「金融正常化」政策と自由化	『経済セミナー』46号	昭和35年8月
金融資産と経済変動	金融学会編『金融学会報告12』	昭和35年11月
不完全競争下の資金供給	『国民経済雑誌』102巻6号	昭和35年12月
金利政策と景気循環	『金融ジャーナル』1巻3号	昭和35年12月
貯蓄選好とその段階性	『国民経済雑誌』105巻1号	昭和37年1月
投資の金融的側面	『経済学研究年報』9	昭和37年7月
貯蓄の構造と資産選好	『バンキング』177号	昭和37年12月
ドルの動揺と国際通貨体制の再編成	『経済評論』12巻1号	昭和38年1月
金とドル	『国民経済雑誌』107巻2号	昭和38年2月
預金量と構造はどう変わるか	『金融ジャーナル』4巻3号	昭和38年3月
貯蓄の構造	金融学会編『金融学会報告17』	昭和38年5月
預金と資金循環	『国民経済雑誌』108巻1号	昭和38年7月
Determinants of Saving and Asset Preference	<i>Kobe Univ. Economic Review</i> 9	昭和38年
部門別信用乗数と信用波及に関連論	『国民経済雑誌』109巻1号	昭和39年1月
(金融学会編『金融論選集11』（昭和39年10月）に再録）		
国際流動性と流動資産の選好	『世界経済評論』8巻5号	昭和39年5月
通貨および信用の構造と連関性	『バンキング』198号	昭和39年9月
貯蓄・投資と流動性	『国民経済雑誌』111巻1号	昭和40年1月

信用乗数と信用波及連関論	『金融研究』（神戸大学金融研究叢書）1	昭和40年1月
預金と所得および投資資金	同上書	昭和40年1月
日銀法改正と管理通貨制度	『エコノミスト』43巻9号	昭和40年3月
物価騰貴と貯蓄者の行動	『金融ジャーナル』6巻3号	昭和40年3月
通貨構造と通貨供給方式	川口 弘・川合一郎編『金融論講座 第5巻日本の金融』（有斐閣）	昭和40年7月
企業間信用とその問題点	『金融ジャーナル』6巻8号	昭和40年8月
日本の不況とインフレーション	『経済評論』14巻10号	昭和40年10月
わが国経済成長と物価の構造	『バンキング』212号	昭和40年11月
金融資産の構造	『金融経済基礎コース No. 13』（全国地方銀行協会）	昭和40年
不況下の物価高は解消するか	『エコノミスト』44巻1号	昭和41年1月
新庄先生——人と学問——（藤田正寛、大野喜久之輔と共同執筆）	『国民経済雑誌』114巻3号	昭和41年9月
ポンド危機と所得政策	『バンキング』223号	昭和41年10月
動揺する英連邦経済	『バンキング』226号	昭和42年1月
国際信用乗数と国際資金循環	『金融研究』（神戸大学金融研究叢書）2	昭和42年3月
「銀行経営の実態調査」の結果に関する報告（矢尾次郎、藤田正寛と共同執筆）	同上書	昭和42年3月
ECに近づく英国	『バンキング』231号	昭和42年6月
西欧から見た日本経済	『経済評論』16巻7号	昭和42年7月
ポンド切り下げとその影響	『バンキング』238号	昭和43年1月
1968年の日本経済の展望——ポンド・ドル危機にはさまれた高成長国——	『労調時報』570号	昭和43年1月
インフレーション	『国民経済雑誌』117巻1号	昭和43年1月
ドル防衛と金融政策	『経済評論』17巻4号	昭和43年4月
インフレーションについての一考察——金とインフレーション——	『国民経済雑誌』117巻5号	昭和43年5月
The Japanese Capital Market	Bankers' Magazine, No. 1490	昭和43年5月
当面する金問題	『バンキング』243号	昭和43年6月
国際信用乗数と流動性	金融学会編『金融学会報告28』	昭和43年10月
国際通貨問題についてのソ連の見解	『バンキング』248号	昭和43年11月

国際通貨制度における金の役割	村野 孝, 松村善太郎編『国際金融——通貨と制度——』(有斐閣)	昭和43年11月
当面する国際通貨問題	『経済月報』(兵庫相互銀行) 177号	昭和44年2月
物価上昇の金融的側面	『経済評論』18巻4号	昭和44年4月
国際通貨の将来とわが国の立場	金融学会編『金融学会報告29』	昭和44年5月
世界的物価上昇と国際通貨	『経済評論』19巻2号	昭和45年2月
貨幣論の課題	『経済学研究のために』(神戸大学経済経営学会)	昭和45年11月
国際金融論の課題(藤田正寛と共同執筆)	同上書	昭和45年11月
The Report of Bank Management in Japan—A Research Study Based on the Results of the 'Questionnaire' (Written with Jiro Yao and Masahiro Fujita)	<i>Kobe Economic & Business Research Series No. 3 (Monetary Factors in Japanese Economic Growth)</i>	昭和45年
わが国と所得政策	『貿易と関税』19巻1号	昭和46年1月
スタグフレーションの論理構造	『経済評論』20巻4号	昭和46年4月
ケインズ金融論の問題点	経済学全集17『金融論』(筑摩書房)別冊	昭和46年7月
国際的インフレーション	『国民経済雑誌』124巻2号	昭和46年8月
IMF体制の崩壊とその将来	『世界経済評論』15巻9号	昭和46年9月
為替相場制——固定相場制と変動相場問題——	『金融ジャーナル』12巻9号	昭和46年9月
ニクソンの新経済政策	『経済評論』20巻11号	昭和46年10月
現代のインフレーション	『経済学研究年報』18	昭和46年12月
国際金融状況の新段階	世界経済研究協会編『70年代の国際通貨』(至誠堂)	昭和47年1月
IMF体制	安東盛人・土屋六郎編『国際金融教室』(有斐閣)	昭和47年7月
ドル切下げ後のアメリカ経済	『経済評論』21巻8号	昭和47年8月
「ドル本位」制について	金融学会編『金融学会報告35』	昭和47年8月
国際通貨体制の現状	村野 孝監修『国際通貨体制の長期展望』(至誠堂)	昭和47年11月
調整インフレの性格強める——再切上げは回避しても物価高騰——	『エコノミスト』51巻4号	昭和48年1月
世界中央銀行案	『国民経済雑誌』127巻5号	昭和48年5月
キーカレンシーの選択	『金融ジャーナル』14巻7号	昭和48年6月

国際通貨体制について ——ドルの隠退案——	国際経済学会編『国際通貨 体制の再建と課題』	昭和48年10月
新局面の物価問題	『経済セミナー』226号	昭和49年1月
国際通貨ドルの隠退案	田中金司先生喜寿記念論文 集編集委員会編『現代金融 論』(千倉書房)	昭和49年3月
高金利論議の焦点と盲点	『週刊東洋経済』3797号	昭和49年4月
貨幣論の課題	『経済学研究のために 増 補改訂版』(神戸大学経済 経営学会)	昭和49年4月
国際金融論の課題(藤田正寛と共同執筆)	同上書	昭和49年4月
SDRの運命 ——価値保証を中心として——	『国民経済雑誌』130巻2号	昭和49年8月
インフレ経済下の金融政策	『経済セミナー』236号	昭和49年9月
インフレ下の異常金利の原因と今後の 見通し	『金融ジャーナル』15巻12 号	昭和49年10月
めまぐるしい最近の金問題——インフレ歯 止めのためにも金の機能を活用せよ——	『世界経済評論』19巻4号	昭和50年4月
IMF体制	小野朝男・西村閑也編『国 際金融論入門』(有斐閣)	昭和50年9月
世界インフレーションと国際通貨制度	金融学会編『金融学会報告 41』	昭和50年11月
世界インフレーションと国際通貨制度	『国民経済雑誌』132巻6号	昭和50年12月
IMF体制	安東盛人・土屋六郎編『国際 金融教室 新版』(有斐閣)	昭和51年4月
管理能力なき「管理貿易」・「管理フロート」	『経済』159号	昭和52年7月
円高と国際通貨	『経済』169号	昭和53年5月
ケインズ「一般理論」の貨幣と利子	『国民経済雑誌』138巻4号	昭和53年10月
アメリカの新ドル防衛策	『経済』177号	昭和54年1月
フリードマンの貨幣理論	『経済学研究年報』25	昭和54年2月
貨幣論の課題	『経済学研究のために 増 補改訂第2版』(神戸大学 経済経営学会)	昭和54年4月
国際金融論の課題	同上書	昭和54年4月
金・ドル交換停止後の金問題	『国民経済雑誌』142巻4号	昭和55年10月
国際通貨制度における金の役割	村野 孝・松村善太郎編『国 際金融 新版』(有斐閣)	昭和56年3月
戦後世界政治経済におけるIMFの役割と 評価	信用理論研究会編『信用論 研究入門』(有斐閣)	昭和56年9月

IMF体制	小野朝男・西村関也編『国際金融論入門(第2版)』(有斐閣)	昭和57年9月
国際収支についてのケインズと古典学派	『国民経済雑誌』147巻2号	昭和58年2月
金融経済論の課題	『経済学研究のために増補改訂第3版』(神戸大学経済経営学会)	昭和58年4月
国際金融論の課題	同上書	昭和58年4月
国際収支調整についてのケインズと古典学派	金融学会編『金融学会報告58』	昭和59年7月
日本とアメリカの資本移動——国際収支発展段階説の批判的検討——	『国民経済雑誌』150巻6号	昭和59年12月
昭和60年代国際金融の課題と展望	『金融ジャーナル』26巻1号	昭和60年1月
ケインズと金	『国民経済雑誌』151巻6号	昭和60年6月
主要先進国の財政・金融政策と国際資金移動	国際経済学会編『現代国際経済の課題』	昭和60年10月
金融構造はどこまで変わるか——対外債権・債務を中心として——	金融学会編『金融学会報告61』	昭和60年12月
国際金融の問題点	経済学・経営学学習のために(神戸大学経済経営学会)	昭和61年4月
国際資金循環と資産選択	『国民経済雑誌』154巻4号	昭和61年10月
債権大国・金融大国日本の課題	『金融ジャーナル』27巻1号	昭和62年1月
国際通貨調整とドル——その歴史と現在——	『経済』273号	昭和62年1月
金融経済論の課題	『経済学研究のために増補改訂第4版』(神戸大学経済経営学会)	昭和62年4月
国際金融論	同上書	昭和62年4月
ケインズの物価理論	『国民経済雑誌』158巻1号	昭和63年7月
国際資金循環と資産選択	金融学会編『金融学会報告67』	平成元年3月
——その他——		
当面する不況対策と春闘	『労調時報』436号	昭和37年1月
イギリスの消費者物価	『バンキング』221号	昭和41年8月
ロンドンの味	『バンキング』222号	昭和41年9月
スコットランドの印象	『バンキング』223号	昭和41年10月
イギリスという国	『バンキング』224号	昭和41年11月

私の見た社会主義国(1)	『バンキング』225号	昭和41年12月
私の見た社会主義国(2)	『バンキング』226号	昭和42年1月
西欧を飛んで(1)	『バンキング』227号	昭和42年2月
西欧を飛んで(2)	『バンキング』228号	昭和42年3月
西欧を飛んで(3)	『バンキング』229号	昭和42年4月
国際流動性問題の新展開(座談会)	『バンキング』234号	昭和42年9月
開発途上国の流動性, 南北間金融, 資本自由化(座談会)	『バンキング』235号	昭和42年10月
国際通貨不安の本質と対策を探る(座談会)	『週刊東洋経済』3475号	昭和44年6月
社会主義ベトナムを見て	『経済評論』18巻14号	昭和44年12月
経済学者の見た北ベトナム——砲撃下にて 経済建設進む——	『エコノミスト』47巻54号	昭和44年12月
平和と福祉実現のもとに討議すべし(東京 サミット・日本の課題)	『金融ジャーナル』27巻5号	昭和61年5月
—書 評—		
川合一郎著『資本と信用』	『国民経済雑誌』91巻1号	昭和30年1月
ピーダーセン著『インフレーションの理論』	『国民経済雑誌』91巻4号	昭和30年4月
三上隆三著『ケインズ経済学の構造』	『国民経済雑誌』95巻1号	昭和32年1月
ライドゥル著『所得, 資産および貨幣にたいする需要』	『国民経済雑誌』98巻6号	昭和33年12月
安田 充著『利子の理論』	『国民経済雑誌』103巻6号	昭和36年6月
三上隆三著『貨幣的経済理論の研究』	『経済理論』(和歌山大学) 69号	昭和37年9月
小野朝男著『国際通貨制度』	『国民経済雑誌』107巻5号	昭和38年5月
水野正一著『日本のマネー・フロー——昭和 42年度の資金循環』	『国民経済雑誌』110巻1号	昭和39年7月
中西市郎著『現代国際投資論——理論と現 実——』	『国民経済雑誌』113巻2号	昭和41年2月
岡橋 保著『現代インフレーション論批判 ——貨幣数量説の新系譜——』	『国民経済雑誌』117巻5号	昭和43年5月
藤田正寛著『国際流動性と低開発国』	『国民経済雑誌』121巻5号	昭和45年5月
R. F. Harrod, Money	『国民経済雑誌』122巻1号	昭和45年7月
水野正一, 山下邦男監訳『現代の金融理論1』	『金融ジャーナル』15巻10号	昭和49年10月
鈴木淑夫著『現代日本金融論』	『国民経済雑誌』133巻4号	昭和51年4月
酒井一夫著『インフレーションと管理通貨 制』	『国民経済雑誌』142巻3号	昭和55年3月

- 中西市郎監修，現代国際金融研究会訳『ドル危機と国際通貨制度改革』（プリンストン大学国際金融論集1），岩野茂道監修，現代国際金融研究会訳『ドル本位制と変動相場制』（プリンストン大学国際金融論集2） 『証券経済』141号 昭和57年9月
- 石川常雄著『現代の金融政策——マネー・サプライをめぐる理論と現実——』 『国民経済雑誌』153巻1号 昭和61年1月
- 中西市郎著『国際金融——理論と現実——』 『世界経済評論』30巻3号 昭和61年3月
- 中尾茂夫著『世界マネーフロー——国際金融市場の歴史と現代——』 『証券経済』164号 昭和63年6月